



冬季講座

町区町会 見守る目と気持ち

2月4日(土) 町区公民館にて、松本市社会福祉協議会西部地区センターの百瀬均さんと、島立地区生活支援員の松崎希佳子さんをお招きし、講義「身近で見守り・ささえあい」見守り安心ネットワークについて」と題した冬季成人講座が開催されました。40代から70代27名の参加者があり、会場は大盛況でした。

日本の人口推移は人口減少と高齢者の急増を経て、現役世代の急減への転換期を迎えたと予想されています。島立地区の高齢者数、一人暮らしの現状を確認すると、避難時に支援が必要な方が400名ほどいらっしゃる事があります。現在すでに周囲との交流が乏しくなる状況に置かれている実態を知る事が、地域ごと支援と向き合うスタート地点に立つ事だと教わりました。

松本市では、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。まずは声がけや挨拶から

令和5年3月1日現在		
世帯数	2,891	世帯
男	3,245	人
女	3,404	人
総人口	6,649	人

共に通える交流の場に誘う事も介護予防、安否確認に繋がります。コロナ禍で後退していた交流ですが、再び支援や介護、見守り、助け合いが戻ってきています。人と繋がる事は集い、散歩や買い物先での立ち話、電話やメールなど自分に合ったものから検討し支援出来る側の住民が、力や情報を寄せ合う機会を増やす事が次の課題ですと、お話がありました。

受講者からの熱心な質問もなされ、島立全体が取り組むべき課題を深める時間となりました。



小柴町会 スマホ講座開催

小柴地区冬季講座のスマホ講習会が2月23日(祝日)に小柴公民会にて開催されました。ドコモショップ渚店から講師3人に来ていただき、スマホの操作を学びたい方々12人が参加しました。

午前の部ではスマホを使った情報検索の仕方を、午後の部ではアプリの使い方を学び

御柱

二之御柱 (町区・永田)

2月18日(土)に中老全体会議が行われました。7年ぶれも大幅に一新したため大老会から指導頂く講師をお招きし、町会を挙げての本気の開会式に40名超が参加しました。

御柱祭山出しを成功に導く実行部隊として、安全に柱を曳行する役目を確認した後、以前に大庭町会で記録された曳き綱(ひきづな)といひきづなといと呼ぶ方も)の製作過程を、YouTubeも活用して勉強しました。

青年会では9月から木遣の練習や采配造りが始まりました。



ました。プロジェクターで画像を写しながら、基本的な部分から応用の部分まで丁寧に説明してもらい、講師の方々に直接質問しながら、熱心に学んでいました。今後のスマホのスキルアップにつながるのではないかと思



り、年明けから、活動はより一層の熱が入ってきています。



二之御柱 修祓の儀(本見立て)

三之御柱曳き綱(ひきづな)

2月5日(日)、三之御柱の曳き綱(ひきづな)が、小柴・大庭、両地区合同で行われました。御柱前方の曳き綱は直径約15cm、長さ約60mに仕上げ、2本作ります。

同じく前方につけるひげなわは2本、後方の追っかけ綱は2本作ります。朝8時から始まった曳き綱(ひきづな)は、御柱役員、木遣り師の方々を中心に、滞りなく進み、昼頃には全て完成しました。

【各御柱の様子】



▲ 四之御柱 修祓の儀(本見立て)



▲ 四之御柱 根倒し 神事



二之御柱 根倒し



一之御柱 曳き綱(ひきづな)

保育園「豆まき会」



1月27日(金)、島立中央保育園と堀米保育園で「豆まき会」が行われました。

堀米保育園では、園児が玄関に飾った「柀いわし」のいわれを聞き、職員室で豆を炒るところを見ました。部屋いっぱいに広がった香ばしい香りに、子どもたちは「いいにおい!」「おいしそう!」と言っていました。その後は、「悪いはいねえか?」と、各保育室を訪れる赤鬼、青鬼に向かって「鬼は外!福は内!!」と、豆を投げました。

あまりの怖さに泣いてしまう子もいましたが、勇敢に鬼に立ち向かう姿はなんとも頼もしかったです。自分の中の怠ける気持ち、意地悪な気持ちなどを退治できたと思います。この一年の無病息災を祈る行事。また、楽しく元気に過ごしていけることでしょう。



堀米保育園



島立中央保育園

島立公民館図書コーナー



ご利用ください

島立公民館では玄関ロビーの奥に図書コーナーが設置されています。2月15日(水)、公民館の文化図書委員による図書の配架作業が行われました。

作業は年に2回、2月と8月に実施され、公民館の図書を市中央図書館へ返却し、新たに借りた図書を公民館図書コーナーへ分類別に並べていきます。

作業当日は、絵本などの児童書や、小説を大きな活字で組み直した大活字本など、約400冊の本が新たに配架されました。

図書コーナーはどなたでもご自由に利用でき、本を借りることができます。借りたい本が見つかりましたら、事務室の職員へお気軽にお声がけください。

島立小学校3学年 車いす体験



2月16日(木)、島立小学校で、3年生児童が人権学習の一環として車いす体験を行いました。まず、松本市社会福祉協議会の皆さんによる、車いすの乗り方、押し方の説明と実演がありました。

その後、児童は二人一組となり、乗車役と介助役を交代しながら、置かれたコーンのスラロームを通過したり、段差に見立てたマットを越えたりしました。

介助役を体験した男子児童は「車いすを押しみて、少しの力でもスムーズに進んだ。段差を越えるのが難しかった」と話し、乗車役を体験した女子児童は「段差から降りる時に、いつ降りるかわからないけれど、介助役の子が声をかけてくれて、ゆっくり押ししてくれたから安心してできた」と話してくれました。

今回の車いす体験を通じて、他者を思いやる気持ちを改めて確認する機会になったのではないかと思います。



島内・島立ふれ愛コンサート

2月23日(祝)、松本市音楽文化ホールにて「人権を考える住民のつどい 島内・島立ふれ愛コンサート」が開催され、関係者約300人が参加しました。



▲オルガニスト 原田靖子さん

近年では「地域の子どもたちが未来へ向かって明るく羽ばたく場」、「大人たちが子どもの成長を見守る場」をテーマに開催されています。

オルガニストの原田靖子さんによる演奏に始まり、島内小学校合唱部、島立小学校ブラスバンド部、松島中学校吹奏楽部、高綱中学校吹奏楽部の日頃の活動発表の場となりました。

▼島内小学校 合唱部



▲松島中学校 吹奏楽部



▲島立小学校 ブラスバンド部



▲アンコール 三校合同演奏

▲高綱中学校 吹奏楽部